

自由定期付積立型新変額保険

投資型ユニバーサル保険 Prime Life

2023年度 特別勘定の現況

●投資環境(2023年度)

日本株式市場

当年度の国内株式市場は上昇しました。年度初は、円安による企業業績拡大への期待や東証がPBR（株価純資産倍率）1倍割れの企業に対して資本効率の改善を求めたことが好感されて、国内株式市場は上昇しました。その後、利益確定売りによる一時的な下落局面を挟みながらも米国長期金利の先高観の後退などを背景に、国内株式市場は堅調に推移しました。年度後半に入ると、米国においてインフレ率の高止まりから金融引き締め長期化への懸念が高まったほか、中東の地政学的リスクや日銀の金融政策変更への警戒感などから一旦は売りが優勢となったものの、その後は、金利上昇への過度な警戒感が緩和されたことから、国内株式市場は再び上昇に転じました。2023年末にかけては、為替が円高に動いたことなどを背景に、国内株式市場はボックス圏での推移となりましたが、2024年に入ると、再度円安に転じたことや新NISA開始に伴う資金流入など良好な需給環境への期待などを背景に大きく上昇して当年度を終えました。

外国株式市場

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度初、米国CPI（消費者物価指数）の伸びが鈍化傾向にあったことなどからFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ懸念が後退したことや、2023年4-6月期の企業決算が事前予想をおおむね上回ったことで景気減速懸念が後退し、外国株式市場は上昇しました。年度半ば以降は、大手格付会社が米国の国債や銀行の格付を引き下げたことを受けて金融システムの健全性への懸念が高まったことや、中東で地政学的リスクが高まったことなどから、外国株式市場は下落したものの、12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利が据え置かれ、また2024年内の複数回の利下げが示唆されるなどインフレ鈍化を背景とした各国中央銀行による緩やかな利下げが視野に入りつつあり、世界経済を下支えするとの期待から、年度末にかけて上昇基調となりました。

日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。根強いインフレ圧力を背景に、欧米中央銀行が政策金利の引き上げを継続し、世界的に国債利回りが上昇したことを受けて、日本の10年国債利回りも年度初から上昇しました。2023年7月の日銀金融政策決定会合では長期金利の変動許容幅を±0.5%程度を目途とするなど、YCC（イールドカーブ・コントロール）政策の柔軟化を決定し、10月にも指値オペの水準に関して1.0%を目途とするなど、さらなる柔軟化を図ったことから、10年国債利回りは一時0.9%台まで上昇しました。その後は、欧米中央銀行の年内利下げが意識されるなかで10年国債利回りは一時0.6%を下回りましたが、堅調な春闘による賃上げの結果が発表されたことや2024年3月の金融政策決定会合でマイナス金利の解除とYCC政策の撤廃などが実施されたことを受けて、年度末にかけて再び上昇して当年度を終えました。

外国債券市場

米国債利回りは上昇しました。年度前半は、米国の地方銀行の破綻を受けた金融システム不安が後退したことや堅調な経済指標を背景としたFRBの金融引き締めに積極的な姿勢を受けて米国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、米国で雇用統計やCPIに落ち着きが見られたことを背景にFRBによる金融引き締め姿勢が後退したことから、米国債利回りは低下しましたが、年度末にかけては堅調な経済指標が確認されたことやFRB高官の早期の利下げに対する否定的な発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

ドイツ国債利回りは当年度を通じてはおおむね横ばいとなりました。年度前半は、資源価格の高騰などを背景に欧州域内でのインフレが高進するなか、ECB（欧州中央銀行）が金融引き締め姿勢を維持したことから、ドイツ国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、ユーロ圏の経済指標が軟調であったことや米国債利回りに連動してドイツ国債利回りは低下しましたが、年度末にかけてはECB高官の早期利下げ期待を牽制する発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円為替レートは、円安米ドル高となりました。年度前半は日銀が金融政策を修正しつつも金融緩和姿勢を維持した一方、FRBは金融引き締め姿勢を継続したことから、日本と米国の金利差が拡大し、円安米ドル高基調で推移しました。その後、FRBの金融引き締め姿勢が後退したことや、日銀による金融政策修正への期待が高まったことから日米金利差が縮小し、円高米ドル安となる局面もありましたが、年度末にかけて、堅調な米国の経済指標を受けて米国債利回りが上昇したことや、石川県能登半島地震の影響から日銀による金融政策修正への期待が後退したことなどを背景に、再度円安米ドル高が進行しました。ユーロ円為替レートは、インフレの高進を受けてECBが金融引き締め姿勢を継続し、政策金利を高い水準で維持したことなどから、円安ユーロ高基調となりました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2023年度決算(決算日：2024年3月31日)を行いました。当資料は2023年度の運用状況をご報告するものです。
4ページ以降は特別勘定レポート(2024年3月末現在)からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。



400601

●特別勘定資産の内訳(2023年度末)

(単位：千円)

区分	金額			
	世界株式 CA	日本株式 FA	日本株式 BA	アセット・アロケーション SA
現預金・コールローン	18,012	3,137	4,029	10,957
有価証券	1,498,828	223,095	232,555	1,060,473
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-
その他の証券	1,498,828	223,095	232,555	1,060,473
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	12,154
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	1,516,841	226,233	236,585	1,083,585

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額			
	世界バランス DSA	世界債券ヘッジ MA	世界債券 MA	マネー・プール B
現預金・コールローン	901	1,906	3,524	44,844
有価証券	270,729	90,737	139,000	-
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-
その他の証券	270,729	90,737	139,000	-
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	271,631	92,643	142,525	44,844

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2023年度)

(単位：千円)

区分	金額			
	世界株式 CA	日本株式 FA	日本株式 BA	アセット・アロケーション SA
利息配当金等収入	52,345	18,577	20,181	57,342
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	1,120,775	111,152	132,295	657,554
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	778,016	78,429	84,219	439,692
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	395,104	51,300	68,258	275,203

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額			
	世界バランス DSA	世界債券ヘッジ MA	世界債券 MA	マネー・プール B
利息配当金等収入	23,588	-	3,068	-
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	137,318	10,629	32,226	-
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	1,140	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	102,208	12,818	18,038	-
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	58,698	-3,329	17,256	-

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2023年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界株式 CA	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1*1	-	-	26,192	23,343
日本株式 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3*1	8,127	28,500	12,124	23,716
日本株式 BA	日本株式インデックス・ファンドVA1*2	14,361	38,500	14,376	18,839
アセット・アロケーション SA	さわかみファンド	-	-	28,173	43,839
世界バランス DSA	大和住銀グローバルバランスファンドSVA	2,143	10,400	10,988	29,028
世界債券ヘッジ MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)	1,772	1,970	6,885	8,850
世界債券 MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)	1,040	2,100	8,617	14,157
マネー・プール B	-	-	-	-	-

※単位未満切捨て

*1 適格機関投資家専用

*2 適格機関投資家限定

●保有契約高(2023年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
自由定期付積立型新変額保険 投資型ユニバーサル保険 Prime Life	519	5,934

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	銘柄	運用会社	資産運用関係費用(年率)*3
世界株式 CA	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1*1	キャピタル・インターナショナル	0.77% (税込) 程度
日本株式 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3*1	フィデリティ投信	0.968% (税込) 程度
日本株式 BA	日本株式インデックス・ファンドVA1*2	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	0.275% (税込) 程度
アセット・アロケーション SA	さわかみファンド	さわかみ投信	1.10% (税込) 程度
世界バランス DSA	大和住銀グローバルバランスファンドSVA	三井住友 DS アセットマネジメント 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・ インターナショナル・リミテッド、 ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・ インク	1.078% (税込) 程度
世界債券ヘッジ MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)	ブラックロック・ジャパン	0.528% (税込) 程度*4
世界債券 MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)		0.528% (税込) 程度*4
マネー・プール B	特に定めません	特に定めません	金利情勢、投資対象とする 短期金融商品によって変動します。

*1 適格機関投資家専用

*2 適格機関投資家限定

*3 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*4 2024年2月1日付より資産運用関係費用は0.858% (税込) 程度から、0.528% (税込) 程度に変更になりました。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 世界株式

【運用方針】

日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	232.34	-
2023年 3月31日	269.21	-0.17%
4月30日	274.98	2.14%
5月31日	291.90	6.15%
6月30日	304.55	4.34%
7月31日	299.53	-1.65%
8月31日	309.62	3.37%
9月30日	300.36	-2.99%
10月31日	290.66	-3.23%
11月30日	315.10	8.41%
12月31日	316.87	0.56%
2024年 1月31日	331.84	4.72%
2月29日	347.61	4.75%
3月31日	357.02	2.71%

3ヶ月変化率	12.67%
6ヶ月変化率	18.87%
1年変化率	32.62%
3年変化率	53.66%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	18,012	1.2%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	1,498,828	98.8%
その他	-	-
資産合計	1,516,841	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,516,841	100.0%

投資対象となる投資信託について

キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】 キャピタル・インターナショナル
【運用対象】 日本を含む世界主要国の株式など
【ベンチマーク】 MSCI-World Index

運用状況

■国別・地域別内訳※ (2024.3末現在)

国名	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比	ポートフォリオ 銘柄数
北米	74.0%	48.3%	102
アメリカ	70.9%	47.0%	97
カナダ	3.1%	1.4%	5
欧州・中近東	17.2%	35.7%	52
イギリス	3.8%	5.9%	10
フランス	3.2%	11.7%	15
スイス	2.4%	3.4%	7
ドイツ	2.3%	2.1%	3
オランダ	1.3%	2.7%	2
ノルウェー	0.2%	0.5%	1
その他	4.0%	9.4%	14
アジア・オセアニア	8.9%	8.8%	26
日本	6.1%	7.3%	20
香港	0.5%	1.0%	4
その他	2.3%	0.5%	2
その他地域	-	2.4%	8
キャッシュ他	-	4.8%	-
合計	100.0%	100.0%	188

■業種別内訳※ (2024.3末現在)

業種	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比
情報技術	23.7%	18.4%
資本財・サービス	11.2%	17.6%
ヘルスケア	12.0%	14.6%
金融	15.4%	11.0%
一般消費財・サービス	10.7%	9.1%
生活必需品	6.5%	8.1%
コミュニケーション・サービス	7.4%	5.4%
素材	3.9%	4.1%
エネルギー	4.5%	4.0%
公益事業	2.4%	2.4%
不動産	2.3%	0.6%
キャッシュ他	-	4.8%
合計	100.0%	100.0%

■組入上位10銘柄※ (2024.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 ノボ	ノルディスク	デンマーク ヘルスケア	3.2%
2 ブロードコム	アメリカ	情報技術	2.8%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.4%
4 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.2%
5 サフラン	フランス	資本財・サービス	2.1%
6 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	2.1%
7 アストラゼネカ	イギリス	ヘルスケア	1.8%
8 トタル	フランス	エネルギー	1.6%
9 アップル	アメリカ	情報技術	1.5%
10 SAP	ドイツ	情報技術	1.4%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.3末現在)

2024年3月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに上昇しました。現地通貨ベースで同市場を見ると、上旬から中旬にかけては、米国の物価指標でインフレ圧力の根強さが示され早期利下げ観測が後退したことや、それにともなう米長期金利の上昇などを背景に上値の重い動きが続き、下旬にはFRB (米連邦準備制度理事会) が政策金利の据え置きを決定したほか、年内3回の利下げ見通しを維持したことなどから、上昇基調で推移しました。セクター別では、エネルギーや素材をはじめとするすべてが上昇する展開となりました。一般消費財・サービスやヘルスケアは比較的小幅な上昇にとどまりました。

当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・ファンド・グローバル・エクイティ・マザーファンドを通じてキャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は+2.97%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) における運用に関しては、セクター別では資本財・サービスや一般消費財・サービスにおける銘柄選択などがプラスに寄与した一方、金融や情報技術における銘柄選択などはマイナスに寄与しました。国別ではフランスの銘柄選択などがプラス要因となったのに対し、米国の銘柄選択などはマイナス要因となりました。

※当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期積立型新変額保険) の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
※投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期積立型新変額保険) は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
※特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
※特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
※当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
※当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 日本株式

【運用方針】

日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

【投資対象となる投資信託】

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

■ユニットプライスの推移



■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	3,137	1.4%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA3	223,095	98.6%
その他	—	—
資産合計	226,233	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	226,233	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	222.96	—
2023年 3月31日	214.69	2.08%
4月30日	218.75	1.89%
5月31日	231.59	5.87%
6月30日	241.89	4.45%
7月31日	239.20	-1.11%
8月31日	240.39	0.50%
9月30日	237.75	-1.10%
10月31日	226.43	-4.76%
11月30日	239.63	5.83%
12月31日	240.91	0.53%
2024年 1月31日	252.79	4.93%
2月29日	263.69	4.31%
3月31日	272.03	3.16%
3ヶ月変化率		12.92%
6ヶ月変化率		14.42%
1年変化率		26.70%
3年変化率		22.01%

*ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
*前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

【運用会社】 フィデリティ 投信

【運用対象】 日本株式

【ベンチマーク】 TOPIX (配当金込)

運用状況

■市場別構成比 (2024.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	95.8%
東証スタンダード	2.0%
東証グロース	0.6%
その他市場	—
現金・その他	1.6%

*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比 (2024.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	21.4%
2 輸送用機器	8.8%
3 銀行業	8.2%
4 化学	6.5%
5 卸売業	6.1%

*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7%
2 キーエンス	電気機器	3.6%
3 東京エレクトロン	電気機器	3.6%
4 ソニーグループ	電気機器	3.3%
5 トヨタ自動車	輸送用機器	3.2%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.1%
7 日立製作所	電気機器	3.0%
8 伊藤忠商事	卸売業	2.9%
9 信越化学工業	化学	2.7%
10 本田技研工業	輸送用機器	2.3%

*構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 181)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.3末現在)

当月の東京株式市場は、日銀のマイナス金利政策が解除されてデフレ脱却期待が高まり、日経平均株価は史上最高値を更新しました。前月からの上昇の勢いを受け継ぎ、日経平均株価は月初に史上初となる4万円の台に到達しました。その後は米半導体株の下落や、日銀の政策変更を睨んで円高が進んだことなどがマイナス要因となって反落を強いられましたが、春闘で昨年よりも高い賃上げ率が確認されてデフレ脱却期待が高まると、市場で日銀の政策転換の織り込みが進み、株価は力強く上昇しました。日銀はマイナス金利や長短金利操作、上場投資信託買入れなどの政策の終了を決定した上で、緩やかな金融環境を継続すると強調した一方、米連邦準備制度理事会は年内3回の利下げを行う方針を維持し、日米の金融政策決定会合が大方の事前想定通りに通過したことが株価を一段と押し上げました。日経平均株価は一時41,000円台に乗せるなど、終値で史上最高値を再び更新した後、月末にかけては利益確定売りや3月期決算企業の配当落ちの影響などからやや調整しましたが、そのまま4万円台を維持して月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+4.44%、日経平均株価は+3.07%でした。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 日本株式

【運用方針】

東証株価指数（TOPIX）採用銘柄を中心に分散投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。

【投資対象となる投資信託】

日本株式インデックス・ファンドVA1

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	190.34	—
2023年 3月31日	193.85	0.53%
4月30日	198.32	2.30%
5月31日	210.32	6.05%
6月30日	223.23	6.14%
7月31日	222.38	-0.38%
8月31日	224.29	0.86%
9月30日	228.99	2.09%
10月31日	217.78	-4.89%
11月30日	230.20	5.70%
12月31日	229.93	-0.12%
2024年 1月31日	245.30	6.68%
2月29日	259.13	5.64%
3月31日	268.40	3.58%
3ヶ月変化率		16.73%
6ヶ月変化率		17.21%
1年変化率		38.46%
3年変化率		41.01%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	4,029	1.7%
有価証券等		
日本株式インデックス・ファンドVA1	232,555	98.3%
その他	—	—
資産合計	236,585	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	236,585	100.0%

投資対象となる投資信託について

日本株式インデックス・ファンドVA1 <適格機関投資家限定>の基本情報

【運用会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ

【運用対象】 日本株式

【ベンチマーク】 TOPIX（配当金込）

運用状況

■上位5業種構成比 (2024.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	16.81%
2 輸送用機器	9.17%
3 卸売業	7.16%
4 銀行業	7.15%
5 情報・通信業	7.02%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■主要指標 (2024.3末現在)

ポートフォリオ	値
銘柄数	2,142
β値*	1.00
推定トラッキング・エラー（年率）*	0.01%

*対ベンチマーク

■組入上位20銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	5.14%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.30%
3 ソニーグループ	電気機器	2.27%
4 東京エレクトロン	電気機器	2.07%
5 三菱商事	卸売業	1.75%
6 キーエンス	電気機器	1.72%
7 日立製作所	電気機器	1.66%
8 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.54%
9 信越化学工業	化学	1.46%
10 三井物産	卸売業	1.39%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

銘柄名	業種	構成比
11 日本電信電話	情報・通信業	1.32%
12 任天堂	その他製品	1.28%
13 リクルートホールディングス	サービス業	1.26%
14 伊藤忠商事	卸売業	1.13%
15 東京海上ホールディングス	保険業	1.13%
16 本田技研工業	輸送用機器	1.11%
17 ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.09%
18 第一三共	医薬品	1.03%
19 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.00%
20 武田薬品工業	医薬品	0.92%

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

アセット・アロケーションSA (2024年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

- 【特別勘定の設定日】2003年12月1日
- 【資産分類】アセット・アロケーション
- 【運用方針】
国内外の株式等を主要投資対象としますが、投資対象には特に制限を設けず、積極的かつ長期スタンスの運用により円ベースでの資産の成長を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】
さわかみファンド

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	221.36	—
2023年 3月31日	212.55	1.41%
4月30日	215.09	1.19%
5月31日	228.17	6.08%
6月30日	240.63	5.46%
7月31日	239.53	-0.45%
8月31日	240.18	0.27%
9月30日	238.21	-0.82%
10月31日	227.45	-4.52%
11月30日	241.78	6.30%
12月31日	243.08	0.54%
2024年 1月31日	255.32	5.04%
2月29日	268.19	5.04%
3月31日	276.90	3.25%
3ヶ月変化率		13.91%
6ヶ月変化率		16.24%
1年変化率		30.27%
3年変化率		25.09%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	10,957	1.0%
有価証券等		
さわかみファンド	1,060,473	97.9%
その他	12,154	1.1%
資産合計	1,083,585	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,083,585	100.0%

投資対象となる投資信託について

さわかみファンドの基本情報

- 【運用会社】さわかみ投信
- 【運用対象】国内外の株式、債券
- 【ベンチマーク】特に定めません。

運用状況

■市場別構成比 (2024.3末現在)

市場	銘柄数	構成比
東証プライム	111	84.20%
東証スタンダード	5	0.51%
東証グロース	5	0.23%
その他国内市場	0	—
外国市場	15	3.21%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

■銘柄数 136 (2024.3末現在)

■上位10業種構成比 (2024.3末現在)

業種	構成比
1 機械	17.91%
2 電気機器	13.70%
3 化学	13.35%
4 輸送用機器	6.91%
5 精密機器	6.64%
6 食料品	4.24%
7 小売業	3.82%
8 ガラス・土石製品	3.77%
9 ゴム製品	3.49%
10 卸売業	3.42%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。
※業種は東証33業種分類による。

■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ディスコ	機械	5.14%
2 信越化学工業	化学	4.86%
3 トヨタ自動車	輸送用機器	4.26%
4 プリダストン	ゴム製品	3.49%
5 テルモ	精密機器	3.27%
6 ダイキン工業	機械	2.92%
7 INPEX	鉱業	2.63%
8 浜松ホトニクス	電気機器	2.45%
9 テクセリアルズ	化学	2.20%
10 セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.04%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.3末現在)

皆さまのさわかみファンドは、基準価額40,000円を超え、純資産総額を更新する場面 (3月22日時点、4,467億円) がありました。市況の過熱感是否めませんが、現金を含めた資産配分を丁寧に継続し、安定した成長をお届けしますのでご安心ください。
日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和 (異次元緩和)」が終了し、総裁のコメントからは「短期金利を主たる政策手段とする普通の金融調整」の時代になりました。政策に右往左往せず将来の曖昧さと上手に付き合いつつ、個人の意思と意欲で資産形成する時代の到来です。当社は「長期投資家デビュープロジェクト」などを通じて意欲ある長期投資家の育成に挑戦しますので周囲の方々にご紹介いただければ幸いです。今月は世界を飛び回っている国際派ビジネスパーソンの方々をお招きして社内勉強会を行いました。北欧の水産企業の方からは新興国で進行中のタンパク質 (魚肉・養殖飼料) 争奪戦の状況を、元GAF日本法人執行役員の方からは出張先で体感される砂漠化のお話と国内の水産を保全することの大切さについて貴重な知見をいただきました。实体经济についての格好いい大人の体験や感性から将来予測に関する多くのヒントをいただいています。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期付積立型新変額保険) の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life (自由定期付積立型新変額保険) は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界バランスDSA (2024年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】バランス

【運用方針】

日本を含む世界各国の株式および公社債に分散投資を行い、中長期的な資産の成長を目指します。株式と債券の基本資産配分比率は6:4とします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

大和住銀グローバルバランスファンドSVA

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	273.54	—
2023年 3月31日	274.38	-0.61%
4月30日	278.22	1.40%
5月31日	291.51	4.78%
6月30日	303.73	4.19%
7月31日	297.15	-2.17%
8月31日	302.06	1.65%
9月30日	296.80	-1.74%
10月31日	292.46	-1.46%
11月30日	308.78	5.58%
12月31日	307.34	-0.47%
2024年 1月31日	316.24	2.89%
2月29日	329.30	4.13%
3月31日	338.59	2.82%
3ヶ月変化率		10.17%
6ヶ月変化率		14.08%
1年変化率		23.40%
3年変化率		23.78%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位:千円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	901	0.3%
有価証券等		
大和住銀グローバルバランス ファンドSVA	270,729	99.7%
その他	—	—
資産合計	271,631	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	271,631	100.0%

投資対象となる投資信託について

大和住銀グローバルバランスファンドSVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント

(投資顧問) ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド,
ティエー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク

【運用対象】日本を含む世界各国の株式および公社債

【ベンチマーク】MSCIワールド・インデックス (円換算): 60%、
FTSE世界国債インデックス (円換算): 40%

運用状況

■資産構成 (2024.3末現在)

ファンド名	構成比
インターナショナル株式マザーファンド	57.1%
グローバル債券マザーファンド	37.2%
日本株マザーファンド	4.4%
短期金融資産等	1.3%

※各マザーファンドへの投資割合

■インターナショナル株式 組入上位10銘柄

(2024.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.9%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.8%
3 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	4.7%
4 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	4.7%
5 SCHWAB (CHARLES) CORP	アメリカ	金融	3.2%
6 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	3.2%
7 APPLE INC	アメリカ	情報技術	2.7%
8 CONOCOPHILLIPS	アメリカ	エネルギー	2.7%
9 META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.5%
10 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 68)

■グローバル債券組入上位10銘柄

(2024.3末現在)

銘柄名	国名	構成比
1 FRANCE OAT. 3.5 11/25/33	フランス	10.0%
2 BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.3 02/15/33	ドイツ	6.6%
3 UK GILT 4.5 06/07/28	イギリス	5.6%
4 NEW ZEALAND GOVERNMENT 3.5 04/14/33	ニュージーランド	4.9%
5 UK GILT 0.875 07/31/33	イギリス	4.7%
6 US TREASURY N/B 4.5 11/15/33	アメリカ	4.6%
7 US TREASURY N/B 4 11/15/52	アメリカ	4.5%
8 BUONI POLIENNALI DEL TES 4.2 03/01/34	イタリア	4.2%
9 US TREASURY N/B 4.25 12/31/25	アメリカ	4.1%
10 15 40年国債	日本	3.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 22)

■日本株組入上位10銘柄

(2024.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 めぶきフィナンシャルグループ	銀行業	5.2%
2 IFFREETF TOPIX (年1回決算型)	ETF	5.0%
3 NEXT FUNDS TOPIX 連動型上場投信	ETF	4.9%
4 ベイカレント・コンサルティング	サービス業	4.0%
5 THK	機械	3.6%
6 東京建物	不動産業	3.6%
7 上村工業	化学	3.6%
8 富士電機	電気機器	3.5%
9 三井不動産	不動産業	3.3%
10 アルバック	電気機器	3.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 32)

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券ヘッジMA (2024年3月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1,906	2.1%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	90,737	97.9%
その他	—	—
資産合計	92,643	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	92,643	100.0%

■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	105.85	—
2023年 3月31日	87.54	1.47%
4月30日	87.31	-0.27%
5月31日	85.72	-1.82%
6月30日	86.16	0.52%
7月31日	84.84	-1.53%
8月31日	83.92	-1.09%
9月30日	81.79	-2.53%
10月31日	80.85	-1.15%
11月30日	82.95	2.59%
12月31日	85.90	3.56%
2024年 1月31日	84.21	-1.97%
2月29日	83.14	-1.28%
3月31日	83.61	0.57%
3ヶ月変化率		-2.67%
6ヶ月変化率		2.22%
1年変化率		-4.49%
3年変化率		-21.01%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】 ブラックロック・ジャパン

【運用対象】 日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】 FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率 (2024.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.8%	41.7%	0.3%
カナダ	1.8%	2.1%	0.1%
メキシコ	0.8%	3.7%	0.1%
日本	10.9%	10.3%	98.8%
オーストラリア	1.2%	1.0%	0.0%
ニュージーランド	0.2%	—	—
シンガポール	0.4%	0.5%	0.1%
中国	8.1%	7.8%	0.2%
マレーシア	0.4%	—	—
ユーロ	28.3%	28.3%	0.2%
英国	4.6%	14.7%	0.1%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.1%
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.0%

■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.250	2025/12/31	5.3%
2 アメリカ国債	0.500	2027/8/31	3.0%
3 メキシコ国債	7.500	2033/5/26	2.5%
4 イギリス国債	0.125	2026/1/30	2.5%
5 フランス国債	—	2025/2/25	1.8%
6 イタリア国債	3.000	2029/8/1	1.6%
7 アメリカ国債	—	2024/4/4	1.4%
8 中国国債	2.680	2030/5/21	1.1%
9 イタリア国債	1.600	2026/6/1	1.1%
10 イギリス国債	3.250	2044/1/22	1.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合
(銘柄数 306)

修正デュレーション=平均7.19年（ベンチマーク=同7.21年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3,524	2.5%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	139,000	97.5%
その他	—	—
資産合計	142,525	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	142,525	100.0%

■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	128.86	—
2023年 3月31日	122.72	0.38%
4月30日	124.33	1.32%
5月31日	126.24	1.54%
6月30日	131.22	3.94%
7月31日	126.42	-3.66%
8月31日	129.83	2.69%
9月30日	128.06	-1.36%
10月31日	127.33	-0.57%
11月30日	131.21	3.05%
12月31日	132.95	1.32%
2024年 1月31日	134.14	0.89%
2月29日	135.26	0.84%
3月31日	137.07	1.33%
3ヶ月変化率		3.09%
6ヶ月変化率		7.04%
1年変化率		11.69%
3年変化率		6.37%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】 ブラックロック・ジャパン

【運用対象】 日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】 FTSE世界国債インデックス（円ベース）

運用状況

■ 国別通貨別構成比率 (2024.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.8%	41.9%	42.0%
カナダ	1.8%	2.1%	1.8%
メキシコ	0.8%	3.8%	1.1%
南アフリカ	—	—	0.0%
日本	10.9%	10.4%	11.5%
オーストラリア	1.2%	1.3%	1.3%
ニュージーランド	0.2%	—	0.1%
シンガポール	0.4%	0.5%	0.8%
中国	8.1%	7.8%	7.8%
マレーシア	0.4%	—	—
ユーロ	28.3%	26.0%	27.2%
英国	4.6%	12.7%	4.6%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.3%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.3%
スイス	—	1.3%	—
ポーランド	0.5%	0.4%	0.7%
ノルウェー	0.1%	0.3%	0.2%
イスラエル	0.3%	—	0.3%
キャッシュ等		-8.9%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークは FTSE 世界国債インデックス 2024 年 4 月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■ 組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	—	2024/4/4	3.4%
2 イギリス国債	0.125	2026/1/30	3.4%
3 メキシコ国債	7.500	2033/5/26	2.9%
4 アメリカ国債	2.875	2032/5/15	2.6%
5 アメリカ国債	3.375	2033/5/15	2.1%
6 フランス国債	2.750	2029/2/25	2.0%
7 アメリカ社債	1.750	2027/3/9	1.8%
8 ドイツ国債	1.700	2032/8/15	1.7%
9 ドイツ国債	—	2029/8/15	1.6%
10 イタリア国債	1.250	2026/12/1	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 264）

修正デュレーション＝平均7.12年（ベンチマーク＝同7.21年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 短期金融商品

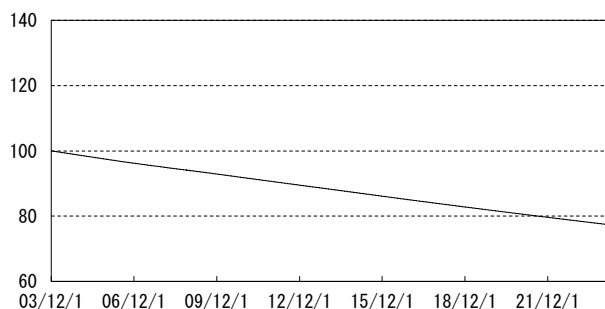
【運用方針】

円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象】

短期金融商品

■ ユニットプライスの推移



■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	44,844	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	44,844	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	44,844	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	80.33	—
2023年 3月31日	78.27	-0.11%
4月30日	78.18	-0.11%
5月31日	78.10	-0.11%
6月30日	78.01	-0.11%
7月31日	77.93	-0.11%
8月31日	77.84	-0.11%
9月30日	77.76	-0.11%
10月31日	77.67	-0.11%
11月30日	77.59	-0.11%
12月31日	77.50	-0.11%
2024年 1月31日	77.42	-0.11%
2月29日	77.34	-0.10%
3月31日	77.25	-0.11%
3ヶ月変化率		-0.32%
6ヶ月変化率		-0.65%
1年変化率		-1.30%
3年変化率		-3.83%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※マーケットの先行きが著しく読みにくい局面等で資金を一時的に待避させる目的でご利用ください。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる半面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る死亡保険金額、満期払戻金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、満期払戻金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■保険期間中に必ずご負担いただく費用

項目	費用
保険契約管理費	特別勘定の純資産総額に対して年率1.3%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.10%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。
危険保険料	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に危険保険料率を乗じた額(危険保険料)
死亡保障関係費	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に対し0.01%/月

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

■特定の取引の場合にご負担いただく費用

項目	適用	費用
保険契約関係費	月単位の契約応当日の前日末の積立金額が100万円未満の契約	毎月…250円
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.3%
解約控除費用	契約日から解約控除対象期間内に解約・減額・一部引出したとき	積立金および危険保険金に対して、所定の解約控除率を乗じて算出した金額

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険契約管理費」、「資産運用関係費用」、「危険保険料」、「死亡保障関係費」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除費用」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

ご注意いただきたい事項

- 「プライムライフ」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額保険)です。
- 「プライムライフ」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/ ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ ☎ 0120-155-730 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---